

高校生世代も医療費無償決定！

「あったか町政」めざし、 子育て応援のまち 発信

令和4年度予算修正案 全員で提出、全会一致

議会最終日の23日、原案（町長提案）を否決し、全議員（議長以外）の連名で提出した令和4年度一般会計予算修正案が全会一致で可決。甲良町議会としては画期的な成果となりました。

建部議員が「町民のくらしを応援する あったか町政」めざして」と提案説明を行いました。

高校卒業までの医療費無償化は滋賀県下では豊郷町に次いで2例目となります。その他、雪害などの「自然災害支援金」も予算化されました。修正可決された項目は、別表を参照。

町長 もっともな提案。速やかに執行したい

野瀬町長は、議員提案の修正予算が全会一致で可決されたことを受け、新聞記者の取材に対し「もっともな提案。可決されたからには、速やかに執行したい」（中日）と表明しています。

西澤議員の賛成討論要旨を紹介します。

◇ ◇

昨年来より、コロナ関連の住民支援事業の策定に当たって、野瀬町長は個人施策は今後、新規に実施しない」と表明され、今回、町民には負担を押し付け、希望を奪う、明確な形で表れた原案となりました。

原案にかわって、全議員が協議し、建部議員提出の

修正予算案は、弱者切り捨て、町民の暮らしや命、健康ないがしろにしたインフルエンザ予防接種自己負担の2倍化、透析患者交通費補助の全面廃止などの原案を克服する基本を示していると考えます。

子育て応援充実のまちを発信

さらに、子どもさんの医療費無償化を高校卒業まで拡充すること、出産祝い金、子育て応援金の多子加算の考え方を導入した拡充は出産・子育てを重視していることを示す一つの視点となる大事な施策であり、子どもの健やかな成長を応援する町というメッセージを発信できることを大いに期待したいと

思います。住宅災害見舞金の予算化は今年度、大雪に見舞われ軒先の破損などの被害に活用できる他、今後台風、地震などの被害に遭われた際、費用の一部を支援することになり、少ないながらも町民の苦難に寄り添う予算」となるものだと言います。

自公政権の悪政の防波堤となり

昨日（22日）、国民泣かせの大軍拡をさらに進める政府予算が成立しました。今回の議員提案の修正予算は小さいながら国の悪政の防波堤となって住民のくらしを応援する画期的なものだと確信します。

修正された主な項目・理由と予算額 (単位：千円)

項目	町長提案額	議員修正額	増減額
弁護士委託料＝安易に委託すべきではない	4,831	3,221	-1,610
実態調査業務委託＝町政に反映していない	1,690	0	-1,690
人工透析患者カソリン補助	0	200	200
高校卒業までの医療費無料化	0	4,000	4,000
長寿祝い金＝百歳、米寿を維持	300	770	470
子育て応援金＝第1子3万円、第2子5万円、3子以上10万円	2,500	3,800	1,300
65歳以上のインフルエンザ予防接種自己負担を2000円とする町長提案から現行1000円を維持	19,079	20,559	1,480
道路維持補修	16,000	30,800	14,800
自然災害支援金	0	10,000	10,000
青少年育成事業補助金	600	800	200

※歳入は町の貯金である財政調整基金から30,840千円を繰り入れ、ふるさと基金から1,690千の繰り入れを取りやめる。

甲良民報

2022年3月27日 851号
発行責任：日本共産党甲良町議員
連絡：甲良町在士373（西澤）
Tel：38-4949 Fax：38-2242

ご相談・ご要望をどうぞ。 ☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123
©日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】